

**在スロバキア日本国大使館**  
**政治・経済月報（2020年9月）**

目 次

<b>新型コロナウイルス</b>	
◆9月30日現在の感染者情報	2
◆過去最多の新規感染者数	2
◆ハンガリーによる入国制限措置	2
◆空路入国者に対する書式記入義務化	2
◆8月の新規感染者の内訳	2
◆9月18日以降の検疫免除対象国及び入国者に対する新たな措置	2
◆感染者数の急増	3
◆10月1日以降の検疫免除対象国、国内規制措置強化	3
<b>内 政</b>	
◆ジャーナリスト殺害事件裁判：第一審判決言い渡し	4
◆政党支持率調査結果	5
◆新党「声-社会民主主義（Hlas-SD）」の政党登録及び国会会派形成否決	5
<b>外 政</b>	
◆チェコ上院議長の台湾訪問に関するスロバキアの反応	6
◆ベラルーシ情勢に関するスロバキアの反応	6
<b>経 済</b>	
◆第2四半期の主要経済指標	7
◆コシツェにおける水素技術センターの設立	8
◆8月の失業率	8
◆政府による企業支援の延長	8
◆スロバキア人学生の国外流出	8

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

## 新型コロナウイルス

### ◆9月30日現在の感染者情報

- (1) 累積感染者数1万938名（前日比+797名。30日の検査数は9170件。同日までの累積検査数は46万7021件）
- (2) 同死者数48名（前日比+0名）
- (3) 同治癒者数4620名（前日比+225名）

### ◆ハンガリーによる入国制限措置（1日付TASR通信）

ハンガリーは、1日より、一部例外を除いて外国人に対して国境を封鎖した。シーヤールト・ハンガリー外務・貿易相によると、V4諸国（チェコ、ポーランド及びスロバキア）の市民は、5日以内に発行された陰性証明書を提示する場合、ハンガリーに入国することが可能である。

### ◆空路入国者に対する書式記入義務化（7日付交通・建設省及び公衆衛生局プレスリリース）

7日より、スロバキアに空路で入国する全ての者は、交通・建設省指定の電子フォーマット（<https://www.mindop.sk/covid/>）への記入が必要となった。

10日より、スロバキアに空路で入国する者の中で、直近14日間に検疫免除対象国以外の国に滞在していた者は、公衆衛生局指定の電子フォーマット（<https://korona.gov.sk/ehranica/>）への記入が必要となる。

### ◆8月の新規感染者の内訳（8日付公衆衛生局プレスリリース）

8月1日～31日に確認された新規感染者数は計1526名（前月は計650名）。そのうち、826名（54%）が無症状者。416名（27.2%）が、国外からの帰国者・入国者（ウクライナ137名、クロアチア58名、チェコ54名、セルビア20名、ルーマニア11名、ハンガリー11名、アフガニスタン11名等）。

### ◆9月18日以降の検疫免除対象国及び入国者に対する新たな措置（17日付公衆衛生局プレスリリース）

9月18日より、チェコが検疫免除対象国から除外され、新たにブルガリア、カナダ、スウェーデンが検疫免除対象国に追加される（当館注：日本は検疫免除対象国）。チェコからの入国者のうち越境労働者、越境通学学生等は検疫措置免除の対象となる。

9月18日以降、直近14日間に検疫免除対象国28か国以外のEU諸国に滞在した者が、スロバキアに入国する場合、①入国後5日経過してからのPC

R検査の実施及び陰性結果が出るまで自主隔離、②感染症状が無い場合（PCR検査を受けずに）10日間の自主隔離、③スロバキア入国前72時間以内に実施したPCR検査の陰性証明書をスロバキア入国後に提示のいずれかが義務化される。

直近14日間に検疫免除対象国ではない非EU諸国に滞在した者がスロバキアに入国する場合、入国後5日経過してからのPCR検査の実施及び陰性結果が出るまでの自主隔離が義務付けられる。

#### ◆感染者数の急増（29～30日付プラウダ紙）

9月30日、スロバキアで1日当たり最多となる797名の新規感染者が確認された。スロバキアでは、過去2週間で、1日あたりの最多新規感染者数が6回更新されている（17日：235名、18日：290名、22日：338名、23日：360名、24日：419名、25日：552名、29日：567名）。

9月30日現在、259名（うち陽性反応218名）が入院中で、集中治療室で11名が処置を受けている。28日、クライチー保健相は、感染者増加に伴い、感染症病棟の病床数が不足していることを受け、10月末までに3500床のベッドを感染者用に用意する旨述べた。

#### ◆10月1日以降の検疫免除対象国、国内規制措置（9月29～30日付公衆衛生局プレスリリース）

10月1日より、サンマリノ、バチカン、台湾が検疫免除対象国に追加される（当館注：日本は検疫免除対象国）。

10月1日以降、小売店及び飲食店における入店制限が再導入される（10平方メートルあたり1名のみ入店を許可。ただし、子供は対象外。客同士の距離を2m以上空ける場合、飲食店においてテーブル間の距離を2m以上空ける場合は同措置の例外）。また、飲食店の営業時間は午前6時から午後10時までに限定される（宅配サービス及び窓口販売は除く）。

10月1日以降、50名を超える大規模イベントの開催が原則禁止される。飲食店及び宿泊施設における大規模イベントや、社交的な性格を持つ大規模イベント（結婚披露宴等）は、人数に関係なく開催が禁止される。

10月1日以降、他人との間隔を2m以上確保できない場合、屋外でもマスク着用が義務化される。職場でも、1人である場合以外はマスク着用が義務化される（従来、同僚との間隔を2m以上空ける場合はマスク着用義務の例外であった）。

## 内 政

### ◆ジャーナリスト殺害事件裁判：第一審判決言い渡し（４日付当地各紙）

３日、特別刑事裁判所は、２０１８年２月に発生したジャーナリストのクツィアク氏及び婚約者クシュニーロヴァー氏殺害事件に関し、以下のとおり判決を下した。

#### （１）実業家コチネル氏

殺人依頼罪及び武器不法所持罪で起訴されていたが、前者については無罪、後者については５０００ユーロの罰金刑の判決が言い渡された（家宅捜索により、同氏の自宅から６０発の銃弾が発見されていた）。

#### （２）ジュジョヴァー氏（コチネル氏の愛人）

殺人依頼罪で起訴されていたが無罪の判決が言い渡された。

#### （３）サボー氏（元警察官）

殺害幫助罪（実行犯（マルチェク氏）の運転手を務めた疑い）、武器不法所持罪、武器不法入手罪、別の殺人罪（実業家モルナール氏殺害事件の実行犯）で起訴されており、全ての罪で有罪判決を受け、懲役２５年の判決が言い渡された。

（４）殺人罪等で起訴されていたマルチェク氏（元軍人）は、容疑を認めており、今年４月に懲役２３年の判決を受けていた。殺人依頼者と実行犯を仲介した疑いで起訴されたアンドルシュコー氏は、警察の司法協力に応じたため、２０１９年１２月に懲役１５年の刑が確定していた。

サボヴァー裁判長は、「犯罪行為が行われたが、コチネル氏及びジュジョヴァー氏が殺害を依頼したという直接的な証拠は見つけることができなかった」と述べるとともに、コチネル氏が殺害計画を指示するために利用したとされる携帯電話アプリThreemaでのメッセージ記録については、「隠語や絵文字が使われており、殺害計画に関する具体的なメッセージは見当たらなかった」と説明した。

また、サボヴァー裁判長は、コチネル氏が事件の首謀者であると述べたアンドルシュコー氏の証言について、「自身の量刑を軽くするためにコチネル氏等に不利な証言をした可能性があり、同証言は信用することができない」と述べた。

検察は、特別刑事裁判所の判決に対して上訴しており、同事件の裁判は最高裁判所で続けられる見通しである。

なお、今年２月、コチネル氏は、別の事件で有価証券偽造の罪により懲役１９年の判決を受けており、今後も刑務所に収監される。ジュジョヴァー氏は、リプシチ元内務相（現在はジャーナリスト殺害事件の被害者側弁護士を務めて

いる)等の殺害計画やフルバノヴォ市長殺害事件に関与した疑いで起訴されており、引き続き勾留される。

#### ◆政党支持率調査結果(7日)

世論調査機関Focusによる、政党支持率調査の結果は以下のとおり(括弧内は支持率に基づいた議席数)。最大与党OLaNOの支持率は、2月の国会総選挙時から約25%減少している。

政党	Focus	2020年選挙
OLaNO(普通の人々・独立した人達)	18.4%(35)	25.02%
Hlas-SD(声-社会民主主義)	16.2%(31)	—
Smer-SD(方向-社会民主主義)	10.9%(21)	18.29%
SaS(自由と連帯)	9.9%(19)	6.22%
Sme rodina(我々は家族)	9.1%(17)	8.24%
LSNS(我々のスロバキア)	8.5%(16)	7.97%
PS(プログレッシブ・スロバキア)	5.9%(11)	※6.96%
Za ludi(人々のために)	3.9%(-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

#### ◆新党「声-社会民主主義(Hlas-SD)」の政党登録及び国会会派形成否決

##### 【11日付SITA通信】

内務省は、ペレグリニ前首相が6月に「方向-社会民主主義」を離党して結成した新党「声-社会民主主義(Hlas-SD)」の政党登録を承認した。ペレグリニ党首は、バンスカー・ビストリツァ市での記者会見で、「国会内に同党の会派を設立したい」と述べた。政党登録申請にあたり、同党は9万4千もの署名を集めた。これはスロバキアの歴史上最多の政党登録のための署名数である(政党登録には必要な最低署名数は1万)。

##### 【14日付SITA通信】

与党及び野党は、Hlas-SDの国会会派設立に対して批判的である。与党議員らは、国会選挙で選ばれていない政党が会派を設立することを支持しない、との意見を表明している。国会会派設立には8名以上の議員が必要であるが、Hlas-SDは既に11名の議員が所属している。国会会派を形成出来る場合、国会内の会議室等が利用でき、国会事務局予算からの財政的補助を受けることができる。

##### 【22日付プラウダ紙】

21日、新党Hlas-SDは、国会会派形成申請を国会に提出したが、国会本会

議にて同党の国会会派形成は否決された。同本会議出席議員 140名のうち、賛成 21名、反対 42名、棄権 76名であった。

## 外 政

### ◆チェコ上院議長の台湾訪問に関するスロバキアの反応

【チャプトヴァー大統領の反応（1日付Twitter）】

1日、チャプトヴァー・スロバキア大統領は、ヴィストウルチル・チェコ上院議長一行の台湾訪問に関し、以下のツイートを投稿した。

「スロバキアはチェコを支持している。EU・中国関係は、対話と相互尊重に基づいているが、EU加盟国の1つ及びその代表者に向けられた脅迫は、双方のパートナーシップの本質と矛盾しており、受け入れることができない。」

【外務・欧州問題省の反応（2日付TASR通信）】

トマガ・スロバキア外務・欧州問題省報道官は、ヴィストウルチル・チェコ上院議長一行の台湾訪問に際してチェコへの支持を表明したチャプトヴァー・スロバキア大統領のツイートに関し、同ツイートへの支持を表明した。

トマガ報道官は、スロバキアは「一つの中国」原則を支持している旨述べつつ、「同原則は、（台湾との）実務的なバイの協力や、対コロナ対策等の選択された国際的なプロジェクトへの台湾の参加を妨げてはならない」と付言した。

### ◆ベラルーシ情勢に関するスロバキアの反応

【スロバキア政府によるベラルーシ市民社会支援基金の創設（2日付TASR通信）】

2日、スロバキア政府は、8月の大統領選挙後のベラルーシ情勢に関連し、ベラルーシ市民社会支援基金の創設を承認した。外務・欧州問題省は、迫害を受けているベラルーシ市民に対して、総額 25万ユーロを提供することを提案している。具体的な支援形態等については、今後のベラルーシ情勢に基づいて、NGO等と協力しながら決定される予定である。

教育・科学・研究・スポーツ省は、20名のベラルーシ学生に対し、スロバキア留学のための奨学金を提供することを提案している。

【ブロッコヴァー副外相のベラルーシ情勢に係る国連安保理アリアフォーミュラ会合出席（5日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

4日、ブロッコヴァー・スロバキア副外務・欧州問題相は、国連安保理のベラルーシ情勢に係るアリアフォーミュラ会合に出席した。ブロッコヴァー副外相は、暴力の即時の終了を求め、ベラルーシ市民との連帯を表明し、選挙妨害及びデモ参加者に対する暴力に責任を有する者に対する個別制裁の導入を確認

した。

【コルチョク外相のEU外務理事会出席（21日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

21日、コルチョク外務・欧州問題相は、EU外務理事会において、ベラルーシ大統領選挙の対立候補であったスベトラナ・チハノフスカヤ氏と会談した際に、「私は、市民のために立ち上がったチハノフスカヤ氏の勇気に感謝する。我々は、スロバキアの大学に留学するベラルーシ人に対して奨学金を支給することを通じて、現在の体制の犠牲者となった若いベラルーシ人の世代を支援する用意がある」と述べた。

【ルカシェンコ・ベラルーシ大統領就任式に関するコルチョク外相の反応（23日付ツイート）】

23日、コルチョク外務・欧州問題相は、ルカシェンコ氏のベラルーシ大統領就任式に関し、以下のツイートを投稿した。

「23日に大統領就任式を行ったルカシェンコ氏は、ベラルーシを率いる正当性を有していない。ルカシェンコ氏は、自由でも公正でもなかったベラルーシ大統領選挙に対する責任を有している。スロバキアは、ベラルーシ市民を支持している。」

【EUによる対ベラルーシ制裁決定に関するコルチョク外相の反応（10月2日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

コルチョク外務・欧州問題相は、2日の特別欧州理事会でEUがベラルーシ高官40名に対する制裁を決定したことに関し、「不正選挙及び市民への暴力に関与した人物に対する制裁が決定されたことを歓迎する」と述べるとともに、「EUによる対ベラルーシ制裁は、ベラルーシ市民に悪影響を与える経済制裁ではなく、非民主的行為に関与した人物に対する、対象を絞った制裁である」と強調した。

## 経 済

### ◆第2四半期の主要経済指標（7日付Symsite）

スロバキア統計局によると、2020年第2四半期のGDPは前年同期比で12.1%減少した。2020年第1四半期は同3.7%の減少であった。

第2四半期の名目平均賃金は、前年同期比で1.2%減少し、1088ユーロ（月額）となった。スロバキアで名目平均賃金が減少するのは初めてのことである。

第2四半期の雇用率は前年同期比で2.5%減少し、過去10年で最大の落ち込みを見せた。失業率は6.6%であった。

#### ◆コシツェにおける水素技術センターの設立（18日付経済省プレスリリース）

18日、クメチ・コシツェ工科大学学長、シャイガーリク・スロバキア科学アカデミー（SAV）総裁及びソヴァーク・シャファーリク大学学長は、水素技術研究センターの設立に向けた覚書に署名した。同センターは、水素技術の研究開発の他、水素技術分野の教育を推進することになる。

スリーク経済相は、同センターへの支援を表明するとともに、「水素技術を活用すれば、スロバキアは2050年までのカーボン・ニュートラル目標に近づくことができる」と述べた。同センターの最初の目標は、2021年のドバイ万博で水素技術のプロトタイプを発表することである。同センターの設立は、7月にブラチスラバで行われた経済省主催の専門家会議による成果の一つである。

#### ◆8月の失業率（19日付プラウダ紙）

労働局によると、8月の失業率（登録ベース）は7.6%であり、前年同期比では2.63%増加したものの、前月比では0.05%減少した。失業率が前月比で改善されたのは、パンデミック以降では初めてのことである。

#### ◆政府による企業支援の延長（24日付プラウダ紙）

スロバキア政府は、雇用維持を目的とした企業及び個人事業主に対する財政支援を、今年末まで延長することを承認した。これにより、政府歳出は1億9800万ユーロ増加する見込みである。現行の制度により、企業は従業員1名あたり月額最大880ユーロ、個人事業主は月額最大180～540ユーロの補助金を受け取ることができる。

政府はこれまでに、計5億7800万ユーロの補助金を企業及び個人事業主に支出している。

#### ◆スロバキア人学生の国外流出（24日付経済新聞）

OECDの統計によると、国外で就学しているスロバキア人の学生の割合は18%であり、EU諸国の中ではルクセンブルクに次いで2番目に高い数値となっている。国外の大学を卒業したスロバキア人のうち、スロバキア本国に戻るには半分程度である。一方、スロバキア国内の大学で就学した学生の10%が、卒業後に国外に流出している。

大学の「エラスムス+」制度を利用して、今年の冬学期に短期留学を行うスロバキア人（行う予定の者も含む）は、例年よりも少なく計662人となっている。パンデミックの影響により、オンライン授業を導入している外国の大学

も増えている。

スロバキア人大学生のうち、8.5%（約2万1000人）はチェコで勉強している。その他、ポルトガル、スペイン、ドイツが国外で人気の就学先である。

（了）

# スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

